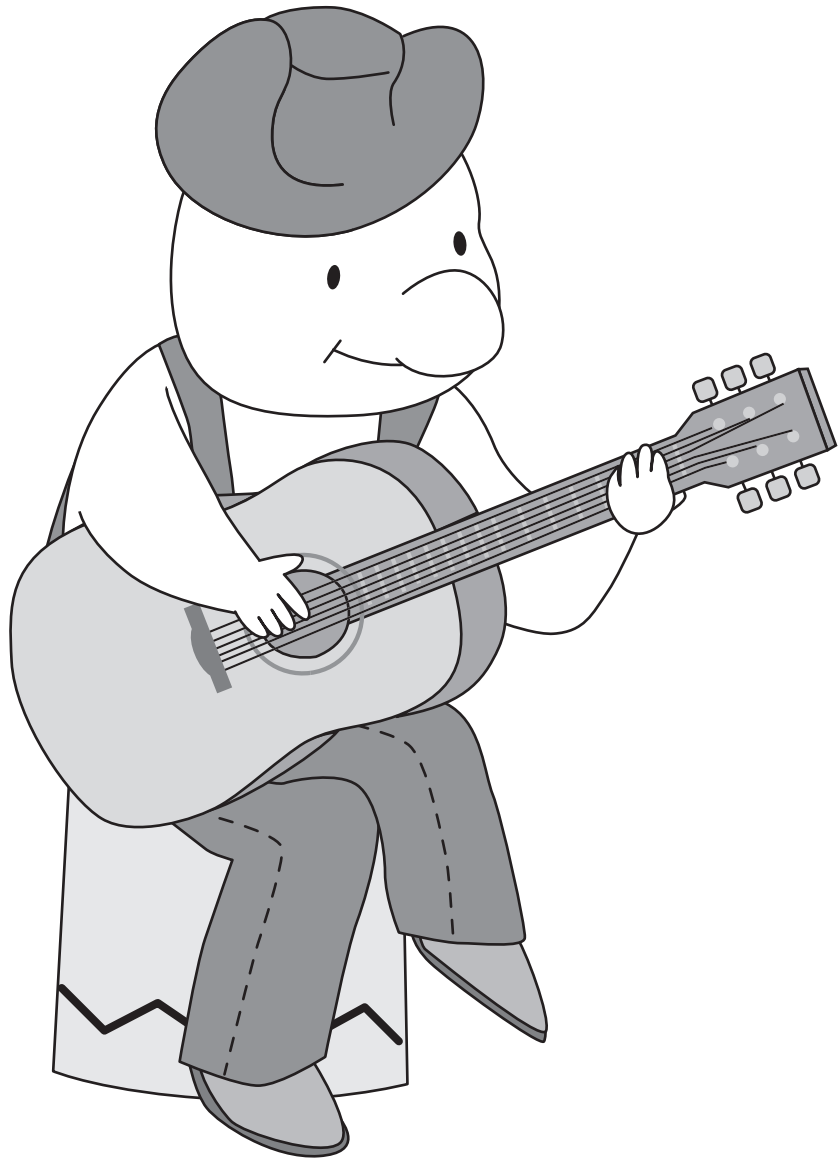


Let's try!



ラパン 12-1

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

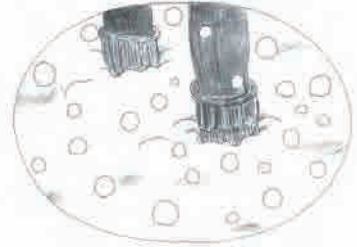
おおみそか
大晦日

^{さだ}定めなき世の
^よさだめかな



いくたびも

^{ゆき}雪の^{ふか}深さを
たずねけり



こがらしや

^{うみ}海に^{ゆう}夕^ひ日を
^ふ吹き^お落とす



ラパン 12-2

なまえ

せん
線
でむすびましょう。

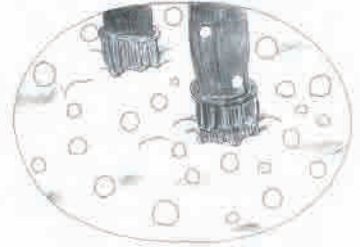
いくたびも

うみ ゆう ひ
海に夕日を
ふ おお
吹き落とす



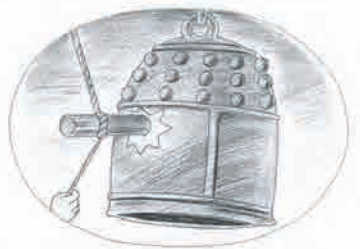
おおみそか
大晦日

ゆき ふか
雪の深さを
たずねけり



こがらしや

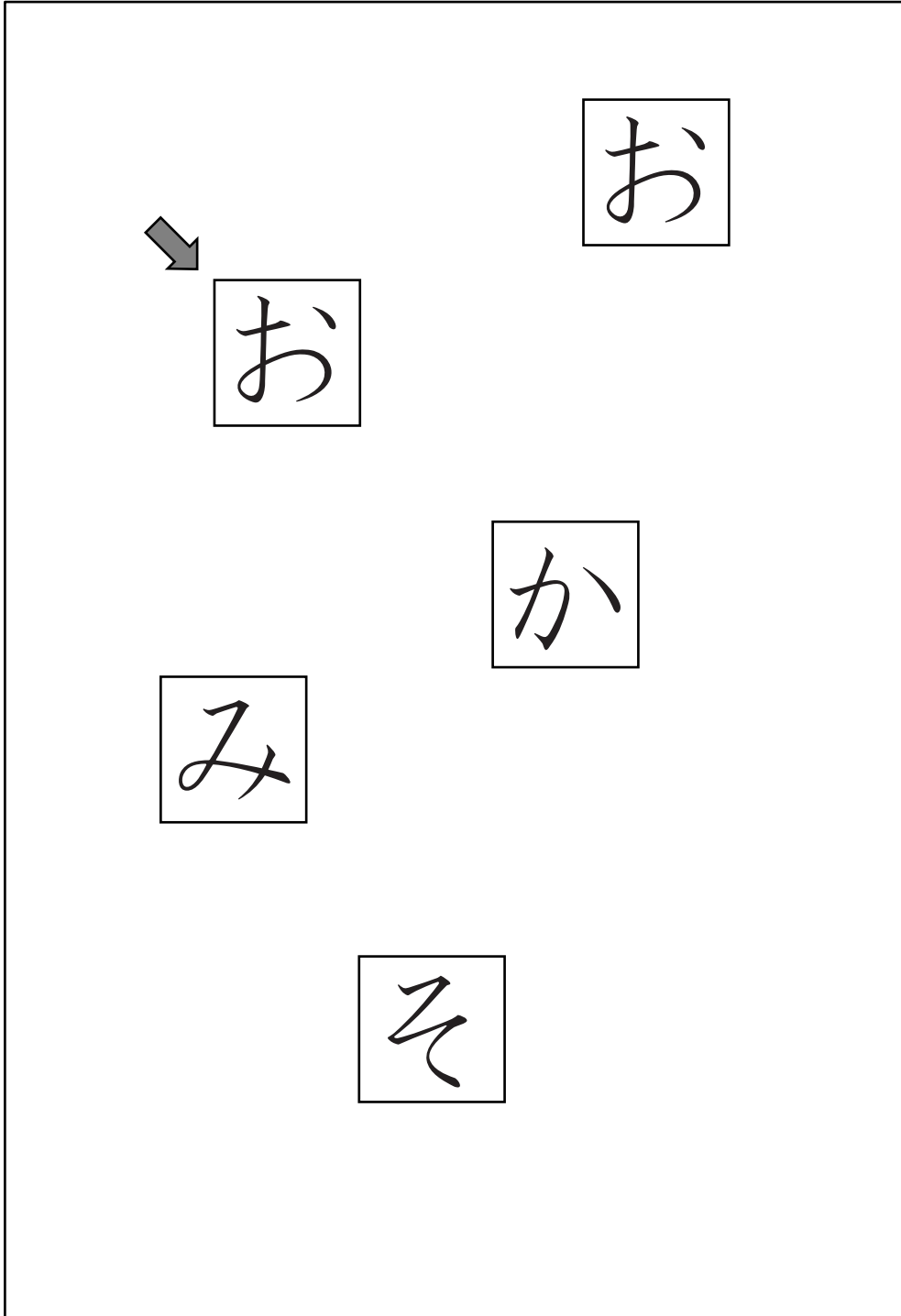
さだ よ
定めなき世の
さだめかな



ラパン 12 - 3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。



お
お
み
そ
か
.
.
.
.

ラパン 12-4

なまえ

せん
線でむすびましょう。

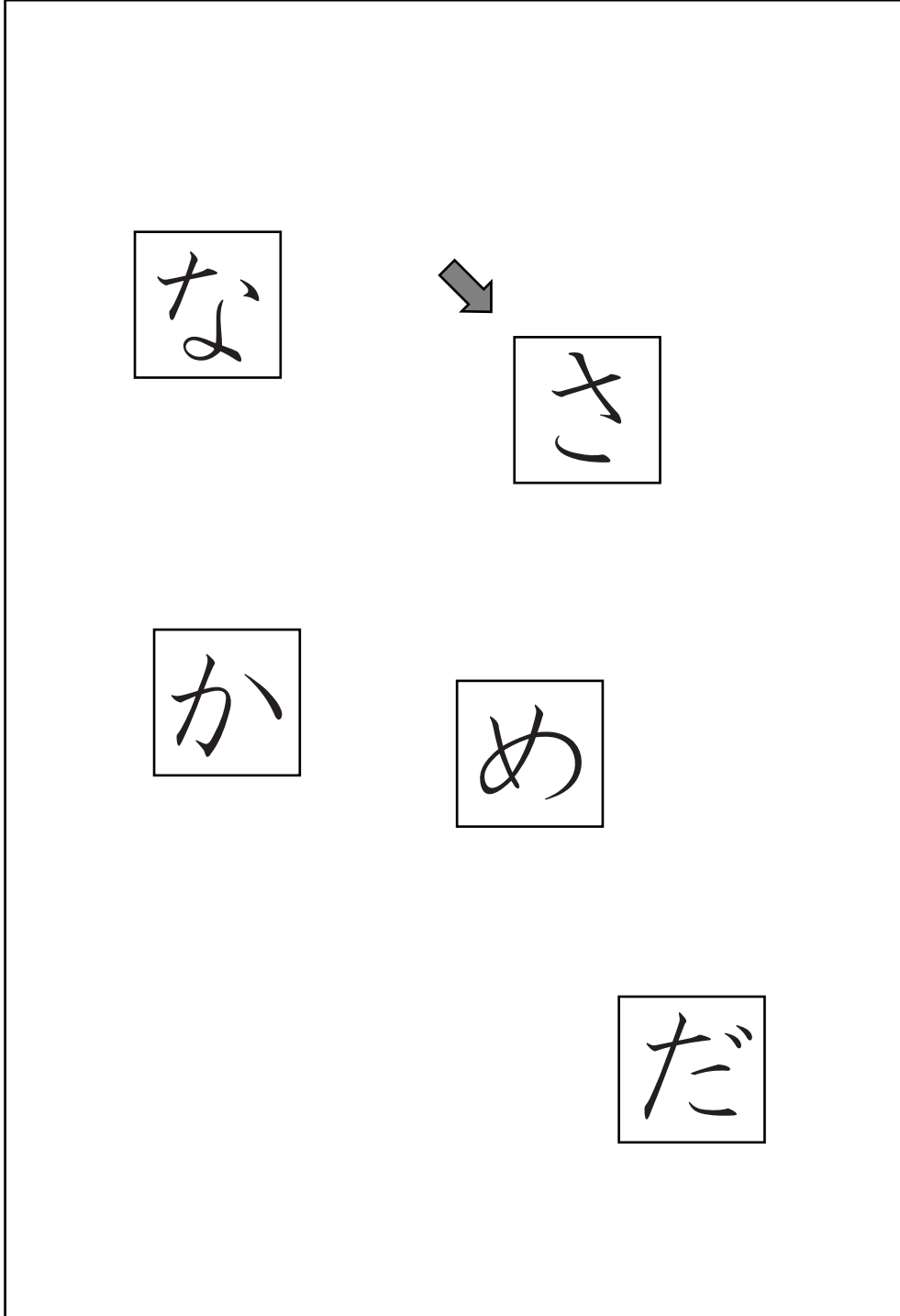
だ な き
め は の
よ

・
・
・
だ
め
な
き
よ
の
・
・

ラパン 12 - 5

なまえ

せん
線でむすびましょう。



・
・
・
・
さだめかな

ラパン 12-6

なまえ

はじめからおわりまで、^{すす}進みましょう。

はじめ



い	く	た	び	も	た	く	さ	り
く	が	で	い	も	お	の	ん	け
た	で	き	た	さ	を	た	ず	ね
び	も	ゆ	よ	か	い	と	こ	ろ
も	た	き	の	ふ	か	さ	を	は
ゆ	し	か	ふ	と	て	た	た	あ
き	で	さ	に	は	も	み	ず	ぶ
の	つ	せ	ろ	ど	お	て	ね	な
ふ	る	き	き	ま	し	た	よ	い

→おわり

ラパン 12-7

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いっちょう
一挺

そろばん



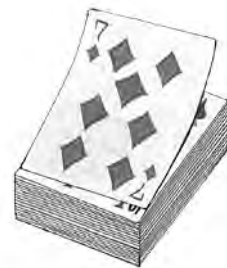
ひとまき
一卷

けいと



ひとくみ
一組

トランプ



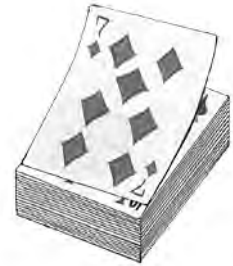
ラパン 12-8

なまえ

せん
線でむすびましょう。

ひとくみ
一組

トランプ



ひとまき
一卷

そろばん



いっしょう
一挺

けいと



ラパン 12 - 9

なまえ _____

すうじをなぞりましょう。
たしざんをしましょう。

$$5 + \text{9 peaches} = \boxed{}$$

$$4 + \text{9 peaches} = \boxed{}$$

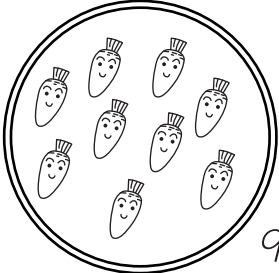
$$6 + \text{9 peaches} = \boxed{}$$

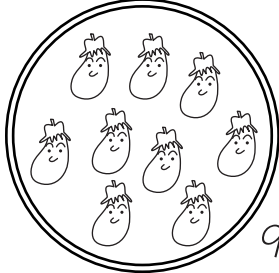
- | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|

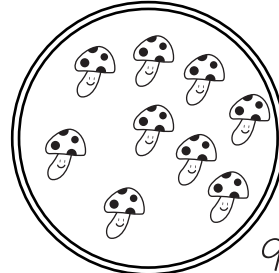
ラパン 12 - 10

なまえ _____

すうじをなぞりましょう。
たしざんをしましょう。

7 ^{○○○} +  =

9 [○] +  =

8 ^{○○} +  =

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

○の数と数字で10になることを教えましょう。

ラパン 12-11

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

せんどうおお
船頭多くして

ふね やま のぼ
船山に上る



ぜんもん とら
前門の虎

こうもん おおかみ
後門の狼



だい
大は

しょう か
小を兼ねる



たいざんめいどう
大山鳴動して

いっぴき
ねずみ一匹



ラパン 12-12

なまえ

せん
線せんでむすびましょう。

ぜんもん とら
前門ぜんもんの虎とら
こうもん おおかみ
後門こうもんの狼おおかみ

とんでもない方に進すすんでいってしまった



せんどう おお
船頭せんどう多くして
ふね やま のぼ
船山ふねやまに上のぼる

おおさわぎするほど
ではなかったね



だい
大だいは
しょう か
小しょうを兼かねる

さいなん をのがれたと思っおもたらすぐまた災難さいなんだ



たいざん めいどう
大山鳴動たいざんめいどうして
ねずみ いっぴき
ねずみ一匹いっぴき

おお ほう つか みち
大きい方が、使つかい道みち
があるね



ラパン 12 - 13

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

たいざんめいどう
大山鳴動して
ねずみ^{いっぴき}一匹

わざわ^{のが}災いを逃れたところに、
ほか^{わざわ}他の災いにあう



だい
大は
しょう^か小を兼ねる

おお^{ほう}大きいものの方が、
つか^{みちひろ}使い道が広い



ぜんもん^{とら}前門の虎
こうもん^{おおかみ}後門の狼

さしず^{ひと}指図する人が多くて、
おも^{ほうこう}思わぬ方向に進む



せんだう^{おお}船頭多くして
ふね^{やま}船山に上る

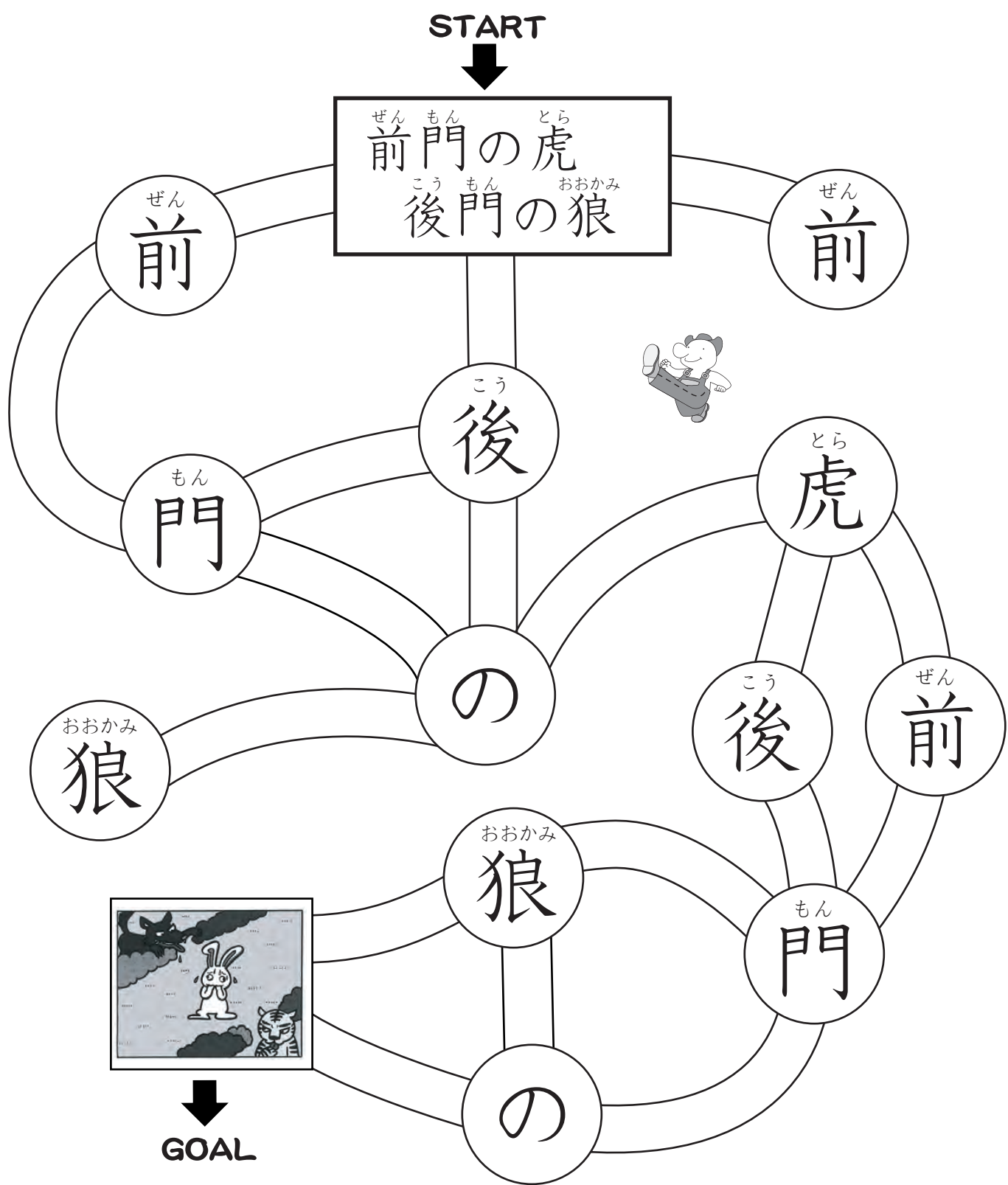
おおさわ^お大騒ぎしたわりに、たい
げっ^かした結果にならなかった



ラパン 12 - 14

なまえ

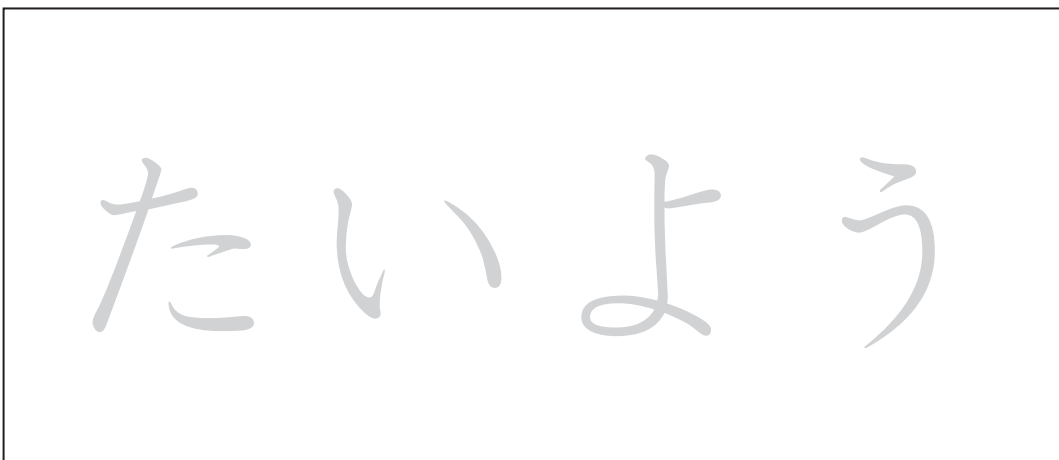
スタートからゴールまでいきましょう。



- 1 ^{まる}丸くなったり、^{はんぶん}半分になったり、^{ほそ}細くなったり^{よる}夜になると^み見えるものなあに？



- 2 ^{てんき}お天気の日^ひに出^でてくるもので、まぶしくて^よ良く^み見えないものなあに？



- 1 ^{みず}水がないのに^{かわ}川という、^{そら}空にある^{かわ}川な
あに？



あまのがわ

- 2 ^{ひこうき}飛行機が^{とお}通ったあとにできることがある
^{くも}る雲は、なあに？

ひこうき
ぐも

ラパン 12 - 17

なまえ

せん
線でむすびましょう。

い く
異口

どう おん
同音



こ し
虎視

たん たん
眈々



し く
四苦

はっ く
八苦



ラパン 12 - 18

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

こ し たん たん
虎視眈々

チャンスをじっと待^まっ
ていよう



し く はっ く
四苦八苦

さんざん苦^く勞^{ろう}をかさね
たね



い く どう おん
異口同音

みんながそう言^いうね



ラパン 12 - 19

線^{せん}でむすびましょう。

なまえ

こ し たん たん
虎視眈々

ひじょう くる
非常に苦しむこと。



し く はっ く
四苦八苦

おお ひと くち
多くの人が口をそろえて
おな
同じように言う。

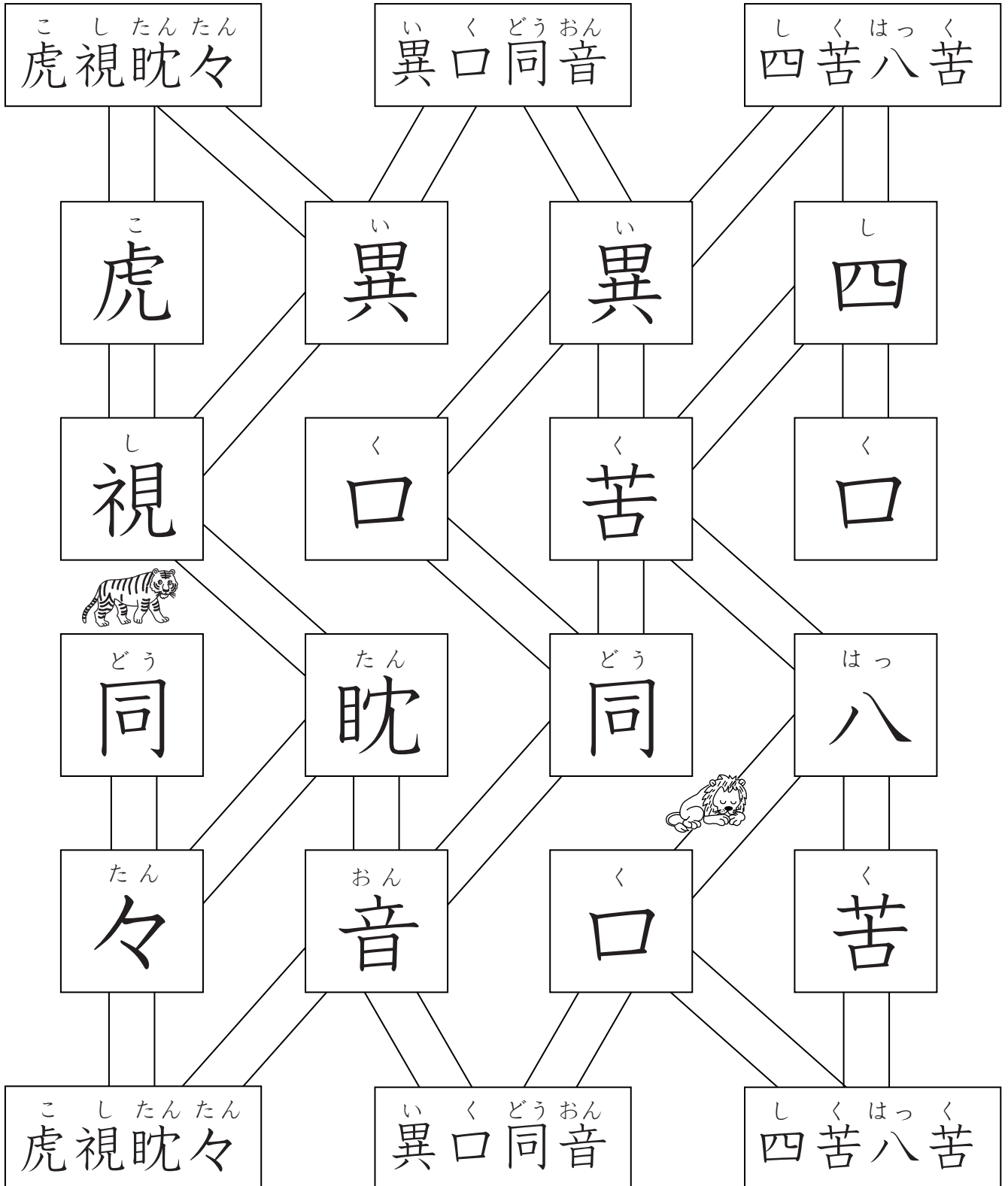


い く どう おん
異口同音

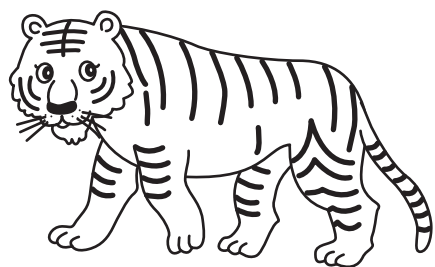
き かい よう す
機会をねらって、様子
をうかがっている。



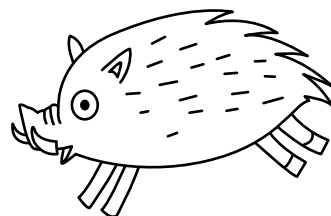
線せんでむすびましょう。



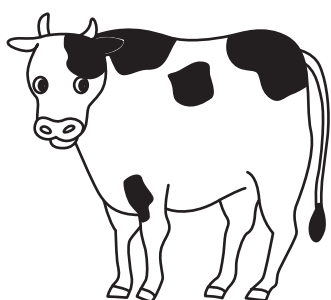
ねずみは、だれのせなかにのって行きましたか？



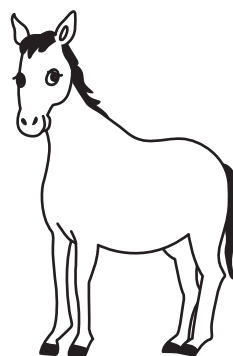
とら



いのしし

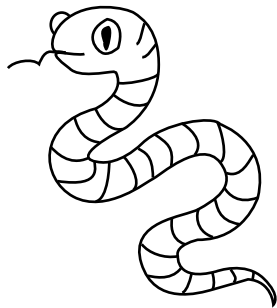


うし

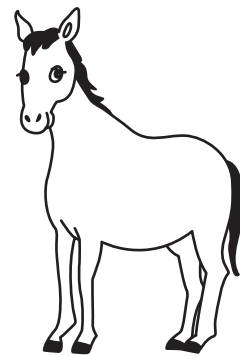


うま

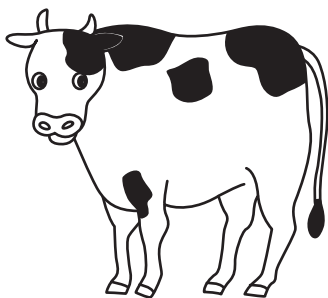
とらの次に^{つき}神様^{かみさま}のところへ^い行ったのは、だれ
ですか？



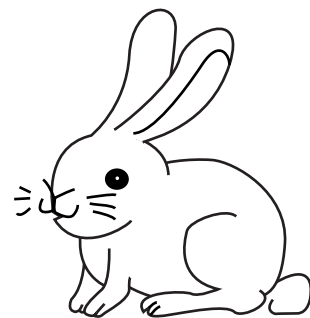
へび



うま



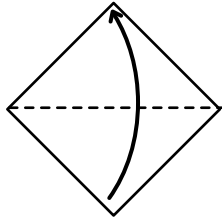
うし



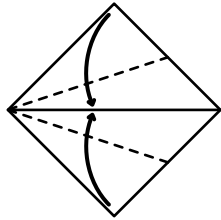
うさぎ

《もみのき》

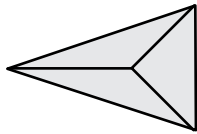
《はっぱ》



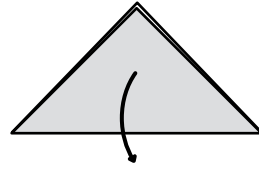
1 さんかくに おる



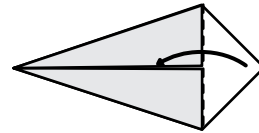
3 まんなかの せんにあわせて おる



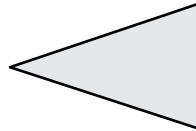
5 おりあがったところ



2 もとの かたちひらく



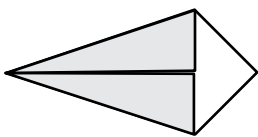
4 さんかくに なるように おる



6 うらがえしたら、はっぱのできあがり



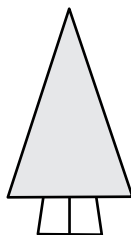
《みき》



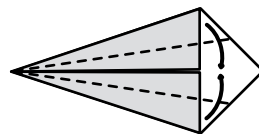
1 はっぱの つくりかたの 1~3までは おなじにおる



3 さんかくに なるように おる



5 はっぱと みきを のりではりあわせて できあがり



2 さらに まんなかの せんにあわせて おる



4 おりあがったところ

